

つながろう
“みずほの和”

令和4年度

瑞穂市 社会福祉大会

オンライン(Zoom)
でのリアルタイム
配信も
行います!

令和4年12月18日(日)

13時00分~16時00分

(12時30分~受付開始/Zoom入室)



岐阜県社協マスコットキャラクター
とまごん

【表彰】13時10分~
表彰状・感謝状の贈呈

【動画映写】14時05分~
瑞穂市社会福祉協議会の紹介

【記念講演】14時20分~

演題: 自分らしく、心穏やかに過ごすためには

講師: 医療法人 徳養会 沼口医院 院長
沼口 諭 医師



*要約筆記付き

講師プロフィール

1988年岐阜大学医学部卒業。国立療養所岐阜病院内科、岐阜大学医学部附属病院などを経て、1994年岐阜大学大学院医学研究科博士課程修了。同年より現職。

1972年に得度(真宗大谷派 宗教法人真福山徳養寺 第17代僧侶)、2011年教師補任。

「医療がささえる命、宗教が寄り添ういのち」が自身の課題です。法人のメディカルシェアハウスで、臨床宗教師を含めた多職種チームが協働して『いのちのケア』に取り組み、患者さんや家族に寄り添う医療のため『いのちを支えるまちづくり』を目指し活動しています。

現在、大垣市医師会会長、日本臨床宗教師会理事、ビハーラ大垣代表。

詳しくは裏面をご覧ください

本大会に参加されるかたは、当日自宅で検温し、マスクを着用の上ご参加ください。体調がすぐれない場合は、参加をお控えください。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、本大会が中止、または延期になる場合があります。開催については、本会のホームページ(<https://www.mizuho-shakyo.org>)をご覧ください。お問い合わせください。

[主催] 社会福祉法人瑞穂市社会福祉協議会 [後援] 瑞穂市

本大会は、赤い羽根共同募金の配分金により実施します。

瑞穂市社協





講演内容

現在の日本は人口の高齢化に伴い、多死社会を迎えています。多くの人は住み慣れた自宅で最期を迎えたいと思っていますが、実際は病院での看取りが多く、本人が望む最期を迎えることが難しくなっています。

人生の最期の在り方をどう迎えたいかは人によって様々です。大切なのは、だれにでも必ず訪れる人生の最期を自分らしく過ごすために、自身やご家族と話し合うことです。

「何をすべきか」また、「どのように支えあうとよいか」を一緒に考えてみませんか。

ところ

瑞穂市総合センター サンシャインホール
(瑞穂市別府1283)

定員

会場 200名
オンライン 100名



申込方法 (事前申込みが必要です)

- 会場ご希望のかたは…電話、窓口、FAX、メール

※氏名、連絡先、住所をお知らせください。

- オンラインご希望のかたは…申込みフォーム

※オンラインで参加されるかたには、後日詳細をお伝えします。

申込み締め切り

令和4年12月9日(金)



お問い合わせ・申込み先

社会福祉法人瑞穂市社会福祉協議会

TEL 327-8610 FAX 327-5323

メール fes@mizuho-shakyo.org

申込みフォーム <https://forms.gle/PCJdRccVXRiSxGGK8>



申込みフォーム

販売・募金コーナー 12時～16時 1階アトリウムにて

同時開催

- お菓子販売

福祉作業所豊住園
福祉作業所すみれの家



- 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

「じぶんの町を良くするしくみ」
共同募金へのご協力をお願いします!



<瑞穂市社会福祉大会申込書>

申込み先:瑞穂市社会福祉協議会

氏名		連絡先	
住所			

※日中にご連絡がとれる電話番号をご記入ください。

申込みで得た個人情報は、本大会の運営管理の目的以外には使用しません。